

中支の一隅より

漢口日本國民學校附屬幼稚園

福 山 隆

倉橋先生を始め幼稚園協會諸先生の御指導を遙かに仰ぎ乍ら長江岸の一隅に保育報國の一翼に参加させて戴いて居ります。漢口の地に参りましてからは僅に九年の月日を経たに過ぎませんが願れば其の間唯、日々の仕事に忙しく暮し來たのみで何等の報告もせすに過ぎてしまひました。今となり筆を執りましてもさして變つた事實を申し上げ得ない事をお恥しく存じます。次に記します事はほんの輪廓的な事柄に過ぎませんが以て他山の石ともなれば幸甚の至りに存じます。

皇軍の鮮血をもて朝敵抗日軍を追ひ拂ひ、中支各地に打ち立てられた日章旗の下、集ひ來し同胞の子弟教育機關が事變以前に比して其の數、其の内容に於て隔日の相違ある發展を見ました事は今更申上げる迄もありませんが、國民學校、中等學校の強化發展と共に、中支の保育は如何様に成長しつゝあるかを鳥瞰する事は、一つには保育全般の反省にもなり、一つには自己の在り所の自覺ともならうかき、十七年末迄に各地國民學校長から回答を得た材料に依つて公私立別に一覽表を作つてみたわけです。公私立別にした

理由は各地の保育への關心が政治的教育的な立場から大體そんな方向を示してゐるかを知らに便利な一方法ださ考へたからでした。私立を私立として排する様な偏見からではありません。然し經濟的理由を第一に擧げなければならぬいでせうが國家の手が直接保育機構に迄觸れて行く前提として各地國民學校に附屬した幼稚園が陸續として生れ出る事を私は切望して居る者です、そして、それは保育方針の統一内容の向上を意味するものださ云つても別に差支ない事ださ考へられます。勿論私立幼稚園に立派なものが多くある事はわかかつて居ますが全般的に云つてさう云へると思ひますので先づ出来るだけ多くの附屬幼稚園が國民學校に附設されることを希望いたします、此の表はさうした見地から一瞥の觀點を定めたわけでした。

要 項	公立幼稚園		私立幼稚園	
	幼 兒	保 姆	佛 基 社 商	系 系 系
園 數	11	15	11	11
内 鮮	1	1	1	1
臺 計	10	14	10	10
訓 保	1	1	1	1
保 保	1	1	1	1
代 保	1	1	1	1
計	1	1	1	1
佛 系	1	1	1	1
基 系	1	1	1	1
社 系	1	1	1	1
商 系	1	1	1	1

蘇州	常州	無錫	南京	鎮江	嘉興	揚州	馬鞍山	蚌埠	蕪湖	安慶	九江	南昌	大冶	武昌	漢口
		一三九	一八八	一四〇				一二六							一七八
		四	二二					二八							三二
		六四九	二九	四〇				五六							六〇六
			一	一											一
			四												二
			二	一				三							一
			六	二				三							三
									中 休 園						一

尤も中支地方には最近漸く國民學校の出現を見た所も少くなく、従つて保育機關の公營に迄は未だ手の届かぬ事情にある地方もある事を知らなければなりません。右の表に見る通り中支の保育現狀は未だ盛んなものではありませんが此れを興す者、深める者は何ミ云つても現在保育に當つてゐる直接者の奮闘に基本を置かねばならないでせうし、保育者其のものゝ努力に依つてこそ環境の反響を呼び起す

事が出来るミ考へなければなりません。

元來保育の重要性ミ云ふものは中支に限らず一般には各種な角度から考へられ、それだけに漠然とした傾向を持つて居たミ云ひ得るでせう。其の宗教的或は單なる託兒的な意圖から生れ出でた幼稚園ミ云ふものが、莫然とした目標の下に營まれた傾向も否めぬ事實であり、又直接の保育者も果して明確な民族的意圖の下に保育生活を營んだか否かは眞面目に反省されなければならぬ事實であつたミ云ひ得るでせう。されば社會一般が保育の重要性ミ云ふものを左迄知らうともせず、結局莫然たる認識の裡に濟まして來たことは一方的な結論にはなつても一理由をなすものとも云ひ得るであります。

然し、過去の事實がさうであつたにせよ、教育が、大東亞の中樞たる日本人を育て鍛へ、一人の無能者をも残すまじき意圖する時、保育もその一翼に在つて、幼児性の充實の上に、幼兒を總動員して民族的な出發が實行されなければならぬのであります。即ち幼稚園は幼兒を楽しく遊ばせる所に止らずに、此の期の兒童に與へ得る教育の効果を民族的意圖の下に與ふべく計られなければならぬのであります。

そして其の機運を促進するものは直接保育者の提携であり眞摯な努力に俟つ以外には無く、中支の保育を成長せし

めるもの亦中支の保育者の自覺にあることを切々教へられる次第でございます。

二、漢口市内の保育概況

當市内には邦人側に二つの幼稚園があります（在留民約八千）一は東本願寺別院經營のもの、一は當附屬幼稚園で、當園は創立明治四十年、爾來一再ならず事變の爲閉鎖等の消長史を持つものですが現在は御稜威の下、英系接收建築物を與へられて次第に歩みを堅めつゝあります。

尙ほ中國側に就いて一言觸れますれば、今、市内に附屬幼稚園が四あり、第一、第六、第九、第十一小學校に附設され中流以上の幼児の中から希望者だけが收容されて居ります。此等の幼稚園は皇軍入城の翌年に新な意味で出發したもので此の發足には及ばず乍ら當幼稚園も參劃し現に働いてゐる保姆達は兎も角も一應保育目的並に方法に就いて當幼稚園に做ふ用意を了へて巢立つた中國人達で、近い所に在る第一小學校の附屬等では年に二回程當園に全幼児が遊びに来て一日を共に戶外に遊んだり遊戲唱歌等で楽しく過して歸る事がありますが、幼児達はお互に玩具を貸し合つたり、ブランコを揺つたりして小さな交遊を遂げるわけでありませう。將來も尙ほ此等の幼稚園とは提携を續け重心に結ぶものあることを希ふ次第ですが、斯うした事こそ急いでではなく焦つてはならないに注意し乍ら少しづつ實踐

して居る現状でございます。

三、當園の近況二三

國民政府が參戰宣言に明示して居る様に、昨十七年秋には重慶を援助し自己の勢力を支那大陸に植ゑて日本本土空襲を企圖した米空軍が先づ占領地帯に對して神經戰を開始した事は皆様御存じの通りですが、其の頃、夜もなく晝もなく頭上に大音響を聞いた幼児達は戰爭の現實性を身近に感じた事は勿論、米英蔣への撃滅の情燃え上る者がありました。直撃彈を受けたらそれこそ處置なき運命に定め、防空壕も何も無い所で最善の場所を選んで避難の實演をしても幼児に云ふ者は案外に驚いたり泣いたりする者ではなく、一所に皆で集つて凝り経過を待つてゐる中に、とても堪らないに云ふ風に歌をうたひ出す者があつたり、角力を始めたりして二度や三度驚かされた位では缺席者の數も増さない有様でした。「ナニ負けるものか」等話し合つてゐる男の兒もあれば「軍が追ひかければすぐ追ひつくねえ」等と安心してゐる女の兒等があり、何時かはなく何處にも見せつけられた思ひに、私は御稜威の有難さ、神のみ軍の強さに涙熱い體驗を致しました。これからも絶無とは云ひ難い斯うした敵の企圖にも、私達は死なば諸共、日本人たるの光榮に強く明るく幼児達を育て、行き度いこ考へて居

ます。

「米國の軍艦を皆沈めてしまへ」こ幼児達は其の頃盛んに菓子箱の反古で飛行機を作りました。「自爆だ」云つては敵艦目がけて突入して行く友軍の飛行機の姿が、畫帖を埋めて猛烈な筆勢で畫されました。勝たなければならぬ意義が神經戰の裏をかいて幼児の胸にも燃え上つたこは、表現に複雑な技巧を知らない彼等ではあつても、朝毎の宮城遙拜に棒の様に直立緊張して一生懸命に最敬禮をする姿の上にも見出す事が出来ました。

しかし、あれから敵機の姿を見る事も稀になつて、緊張の裡にも長江に一日一日水量の増し来る長閑な春を迎へました。

次には極く平凡な事ですが昨秋以來兒童の晝食を炊いて幾分でも健康増進に資し度い願ひから、職員が中心になり支那人使丁の協力を得、保護者側からの當番奉仕の助力を合はせて、現地米の糊氣のないお辨當が不消化になり易い不安から、炊きたての消化のよい晝食を一週間に五日間づつ實行して來た事に就いて御批判を仰ぐ事に致します。大體海外に來てゐる邦人は内鮮臺共に大して生活に困る様な人は無いですので榮養不良に陥る場合は食糧の不足からではなく偏食に依るものが大部分である云つて差支ありません。その他には唯前述の様に現地の米は内地の挽割麥の様

にボロ／＼糊氣の無い物が多く冷えれば箸にもかゝらない様な物になるのが普通なので民團當局の諒解を得、水と燃料を負擔して貰ひ、合作社の協力を得て割に良質の米を安價に融通して戴き蛋白質、ビタミン、灰分等の攝取を中心に脂肪、含水炭素の消化吸収に注意を拂ひ、市中のジャムパン二個乃至三個に相當する位な實費で榮養晝食を實施して見ました。これ迄は當園が日本租界内に在り大體租界に住む邦人の子弟が通園してゐた關係から辨當が冷えて不消化になる様な心配も餘り無かつた事でしたが今は各家庭から相當離れた所にもあり、建物が事實上獨立した爲、さうにか間に合ふ炊事場等もあつたのを幸、今年初めての試みでしたが目の廻る様な忙しい思ひをした效ありしとも言ふ可きか、偏食等は割に事なく矯正せられ、食慾も増したが多く道具の片付け其他兒童の自治的生活の方面にも良好結果を來たしました。

保護者中には種々の職業に従ふ人々があるので材料調味料等の蒐集に奉仕して下さる方もあり經費の點からも無理がなく官衛、保育直接者、保護者の共同事業として微少な歩み乍ら養護に一步踏み出した事は嬉しい經驗でした。

二月中の獻立及經費を記して見ます。次の通りで御座います。日計表も一部附記致します。

週三第			週二第				週一第			週					
金	木	水	火	月	金	水	火	月	火	月	曜日				
19	18	17	16	15	12	11	10	9	8	5	4	3	2	1	
白飯、粉雑魚	まぜ御飯、牛肝、蓮、人蔘、海苔	白飯、粉雑魚	小豆飯、黒ゴマ	白飯、粉雑魚、きなこ	白飯、粉雑魚、きなこ		白飯、粉雑魚、まぜ御飯、油揚、人蔘、蓮、グリーンピース	白飯、梅干	白飯、粉雑魚	白飯、粉雑魚	白飯、粉雑魚	まぜ御飯、牛肝、人蔘、蓮、焼海苔	白飯、粉雑魚	小豆飯、黒ゴマ	
				豚汁 (大根、人蔘、里芋)	味噌汁 (雑魚、わかめ、里芋)		味噌汁 (雑魚、大根、豆腐)	煮豆 (大豆、昆布)	味噌汁 (雑魚、大根、豆腐)	葱、大根、人蔘、里芋	豚汁 (里芋、大根、人蔘、豆腐)		味噌汁(雑魚、大根)	味噌汁(雑魚、大根)	
挽肉(牛) 菠薐草 煮込み			菠薐草 卵とじ (雑魚、大根、人蔘、里芋)	早漬 キヤベツ	白菜		同前	白菜	早漬 キヤベツ	同前	同前	同前	同前	白菜	漬物

週四第			週
木	水	火	月
25	24	23	22
白飯、粉雑魚、きなこ	まぜ御飯、野鴨、人蔘、海苔	白飯、粉雑魚、きなこ	白飯、粉雑魚、きなこ
豚汁 (鴨、里芋、菘、豆腐)		煮豆 (大豆、甘藷、昆布)	野菜煮しめ (雑魚、人蔘、大根、里芋)
早漬 キヤベツ	白菜	同前	早漬 キヤベツ

夜は一般に動物質の材料を使ふ傾向にあるので晝食は出来るだけ植物性の材料を用ひ、血液の中和を計る様努めました。毎週同じ様な献立を繰り返したに過ぎませんが現地も今は物價も高く、材料の種類も少く確實に手に入る見込みの材料を豫定し、時間を長くかけずに、簡単な調理法で出来る副食物をさ心掛けたため、右の様なものになりましたが、校醫や保護者中の醫師にも相談の上、見掛けよりも質に重きを置く事として、華々しい料理を作る事を目標には致しませんでした。

右の献立に依る経費は次の通りでした。但し水道料、燃料代は民團負擔、人件費は計入しません。使丁三名はこの爲に雇つた者ではなく園の仕事全體の爲の者、職員はもこより保護者の當番も奉仕であることは申上げる迄ありません。

曜	日	實費	出缺
月火水木金	1	19 錢	
	2	19 „	
	3	18 „	
	4	28 „	
	5	18 „	
月火水金	8	16 „	
	9	17 „	
	10	24 „	
月火水金	12	25 „	
	15	19 „	
	16	19 „	
月火水木金	17	28 „	
	18	20 „	
	19	28 „	
月火水木金	22	24 „	
	23	20 „	
	24	23 „	
	25	16 „	
	26	27 „	
合計		408 錢	

日計表の例

終りに建國神話書を漢口高等女學校の應援を得て圖書の講師の執筆を仰ぎ民團經費約一千圓を以て作製、横二尺二寸、縦一尺七寸程の額物とし建國神話室に收めました。もごより此の畫類集は完全な物ではないかも知れませんが當地皇道文化協會の指導の下に大過無き物と自信する事が出來ます。

一、國造り 二、天岩戸 三、素佐男命 四、大國主命 五、國讓り 六、天孫降臨 七、海幸山幸 八、神武天皇等、二十枚程になりました。全部日本畫法に成り、紀元節前後を特に神話を取扱ふ期として、週三回程度に話を繼續的に取扱ひ、其他は大祭祝日等に鑑賞させる計畫で居ります。當園は一年保育なので入園當時には唯畫類集を見學させるだけにして置いて第三保育期に入つてから話してきかせることに致しました。尙、保護者側と連絡を進めて、各

家庭でも神話を話して聽かせて戴く事を御願ひして居ります。

建國神話等云へば誠に堅苦しい話で幼児には過重な負擔の様に主張なさる方もありますが實際撥つて見て幼児云ふものは決してそんな存在ではないと思つて居ります。彼等は單純で、全く純粹で、而も直觀的で神話の如く神秘的な話を語り聽かせるには無二の時期にある云つてもよいと云へ思つて居ます。

私は神話を暗記させる事に依つて國史の早教育をしよう云ふのではありません。桃太郎の鬼ヶ島征伐、浦島太郎、かち／＼山等の話を素直に受け容れて居る幼児達に最も本質的な傳統の根源、遠つみ祖の民族的信念を素直に呼吸かせ、皇御民なる生命の底に天之御中に在す御光籠りて溫暖給へと只祈る者に外ならないのであります。

神話はつゞき以前から二月の豫定に織り込んで扱つて來ましたが幼児達は目を見張つて聽いて呉れ特に繪を見せる様になつてからは見る事夫れ自身を非常に喜んで何遍でも見たがつて居る様です。

以上の外、尙指導を仰ぎ度く考へて居る事柄もあります。が次回に譲りまして駄言を止めます。協會の諸先生、全國の皆様御健康をお祈り申し上げます。